

武力で 命は 守れない

私たちは、
憲法9条を守り
生かす道を
選びます。

どうしたら私たちの命を守れますか？

「中国や北朝鮮が攻めてきたらどうするの？」

「国民の命を守るため軍備を持つのは当然だ」そういった声が聞かれます。たしかに今の国際情勢は不安です。しかし強大な軍事力があれば国民の命は守れるのでしょうか。

世界一の軍事大国アメリカでさえ、同時多発テロを防ぎ自国民の命を守ることはできませんでした。軍事大国だからこそテロの標的になったとも言えます。このことは「軍備では決して命は守れない」ということを示しています。

また沖縄戦では、日本軍が生き延びるために住民を犠牲にしました。

命を守りたかったら、戦争だけはしてはなりません。

9条を守り生かすことこそ現実的です

アジア太平洋戦争では、日本だけでも300万人以上、そしてアジアでは2000万人もの人々の命が奪われました。

この悲惨な戦争の深い反省の上に、日本国憲法はつくられたのです。前文で「平和のうちに生存する権利」を謳い、9条では、戦争の放棄、戦力不保持、交戦権の否定を規定しました。その根底には命の尊重、個人の尊重があります。

9条を守り生かす道は単なる理想ではありません。近隣アジア諸国と友好を保ちお互いに平和的に発展のできる、最も現実的な道です。

逆に「戦争する国」への道は、かつての侵略戦争や植民地支配への反省に背を向けてしまうため、アジアで日本が孤立してしまう危険で非現実的な道です。

大田区内九条の会 連名チラシ